女の一生（1953）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 136分
初公開日 1953/11/23
公開情報 新東宝

【解説】
ギィ・ド・モーパッサンの名作文学『女の一生』を、舞台をノルマンディーから京都に変更し、新藤兼人が脚色・監督し映画化。製作は吉村公三郎、音楽は伊福部昭が担当。1967年には野村芳太郎が同作を映画化している。
昭和初期の京都。女学校を卒業した藤子は〈山崎亭〉の真太郎と結婚した。真太郎の父である徳平には愛人が二人もいて、それは藤子には理解しがたいことだった。しかし妊娠した藤子は、自分の夫が女中と関係を持ったことを知り、深く悲しむのだった。兄は特高に捕まり、女中は実家に帰されてしまう。藤子は自分の子供と女中の子供を育てることになり、子育てに夢中になるが、そんなある日、夫が愛人と折り重なるように亡くなっている現場に駆けつけることとなった。

【クレジット】
監督 新藤兼人
製作 吉村公三郎
篠勝三
原作 ギイ・ド・モーパッサン　Guy de Maupassant　「女の一生」
脚本 新藤兼人
撮影 伊藤武夫
音楽 伊福部昭
出演 乙羽信子　白川藤子
千田是也　父教信
英百合子　母満枝
宇野重吉　兄政夫
山内明　山崎真太郎
進藤英太郎　父徳平
杉村春子　母玉恵
田中春男　滝口義人
花井蘭子　松月楼の春江
轟夕起子　菊粋の菊勇
日高澄子　川上ゆき
菅井一郎　父吉松
北林谷栄　母とら
東野英治郎　立花久左衛門
清川玉枝　立花夫人
柳永二郎　西陣の浜村

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

三井弘次　騎手三次
利根はる恵　桃代
殿山泰司　帳場の留吉

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.